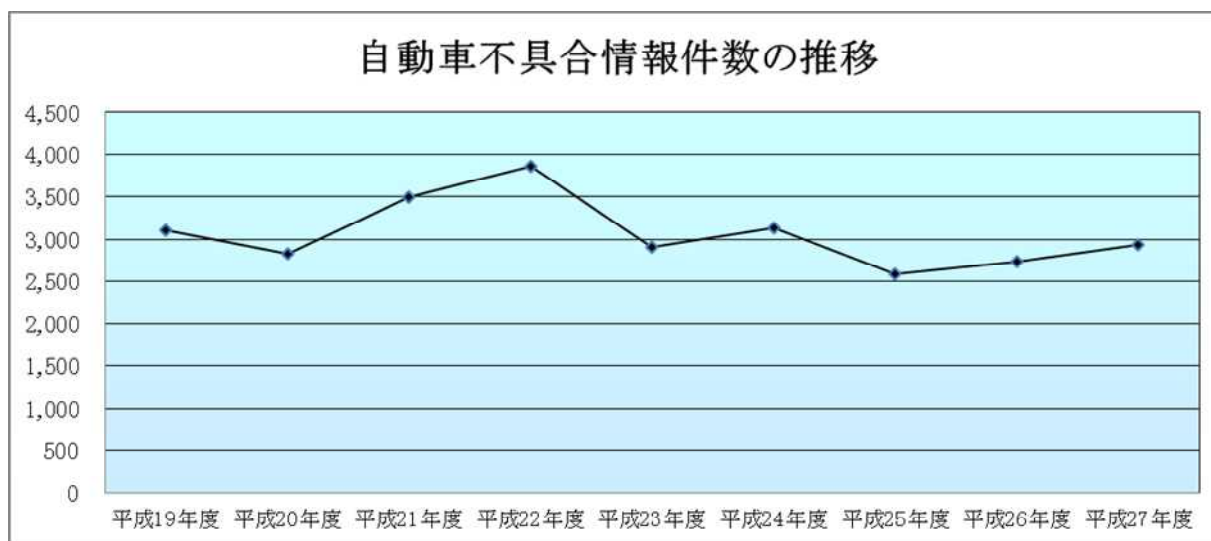


平成27年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成27年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

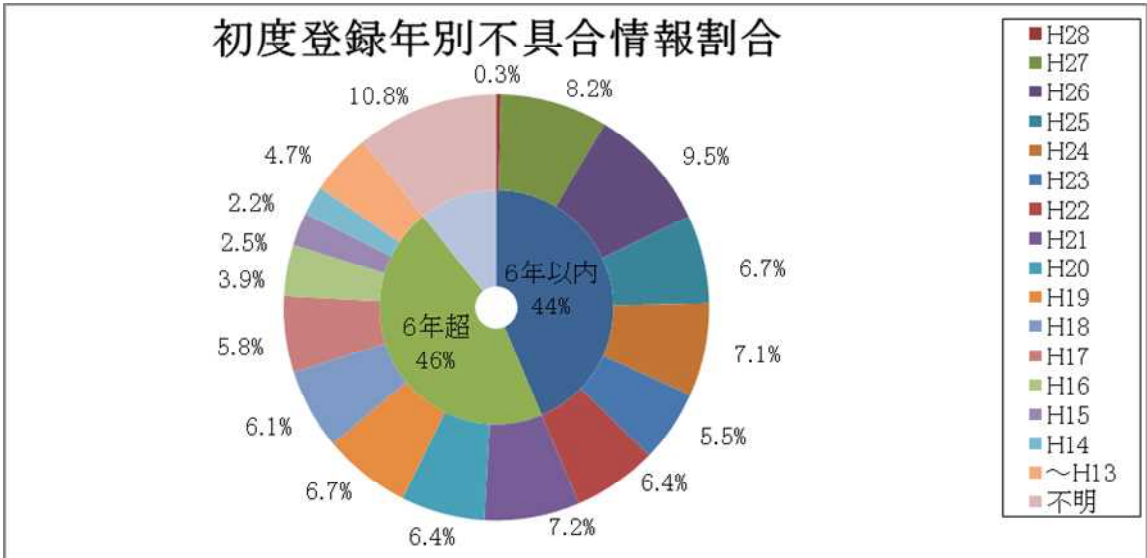
なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

- 平成27年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は5,901件であり、そのうち不具合情報の件数は2,943件である。不具合情報件数の推移状況については、平成21、22年度は、トヨタ自動車のハイブリッド車の制動装置不具合をきっかけとしてリコールに対する社会的な関心が高まった結果、不具合情報件数が増加したが、その後はやや減少し、平成26年度からは微増の傾向にある。



年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	3,110	2,837	3,493	3,862	2,906	3,141	2,597	2,733	2,943

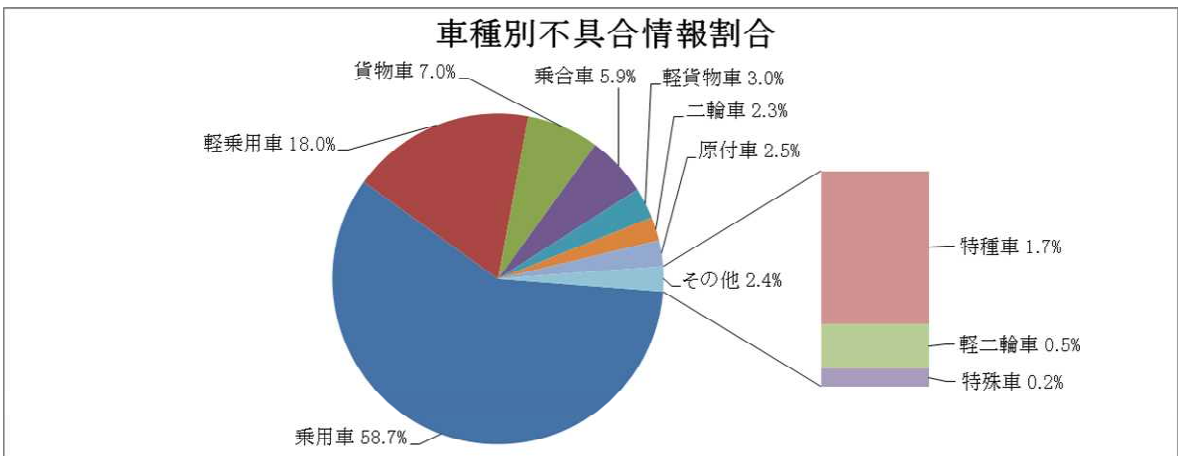
2. 初度登録年別（軽自動車にあつては初度検査年別。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が平成26年の自動車に関するものが279件で全体の9.5%と最も多く、次いで平成27年が240件(8.2%)、平成21年が213件(7.2%)の順となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数とを比較すると、大きな差はなく、6年超の件数が若干多くなっている。



初度登録年	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	～H13	不明	合計
件数	10	240	279	197	209	161	189	213	187	197	180	171	115	73	65	139	318	2,943

3. 車種別の不具合情報件数は、乗用車が1,729件で全体の58.7%と最も多く、次いで軽乗用車が529件(18.0%)、貨物車が207件(7.0%)の順となっている。

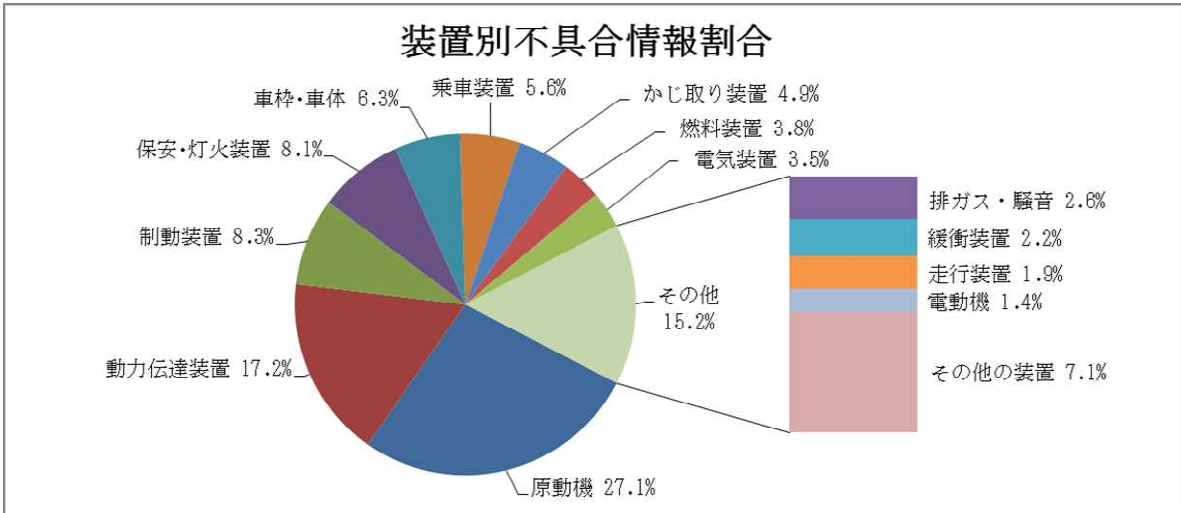
これは、平成27年3月末現在における乗用車の保有台数（39,491千台）が全保有台数（80,670千台）の49.0%であり、乗用車の普及状況が反映されているものと考えられる。



車種別	乗用車	軽乗用車	貨物車	乗合車	軽貨物車	二輪車	原付車	特種車	軽二輪車	特殊車	不明	合計
件数	1,729	529	207	175	89	68	74	51	15	6	0	2,943

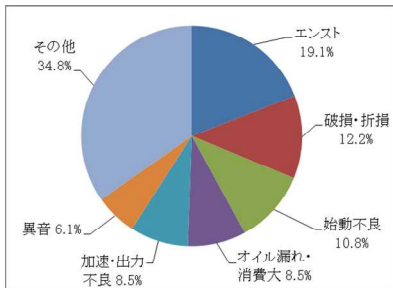
4. 装置別の不具合情報件数は、原動機が 797 件で全体の 27.1%と最も多く、次いで動力伝達装置が 506 件(17.2%)、制動装置が 245 件(8.3%)の順となっている。

また、不具合情報件数の多い装置について不具合事象の詳細を見ると、原動機の不具合事象はエンスト (152件)、動力伝達装置の不具合事象は変速不良 (102件)、制動装置の不具合事象は制動力不足 (66 件) がそれぞれ最も多かった。特に、エンストは、平成22年度から原動機の不具合事象の中で最も多くなっており、高速走行中にエンストが生じると後続車との追突事故等、重大な危険を伴うおそれもあることから、今後とも注視すべき事象である。



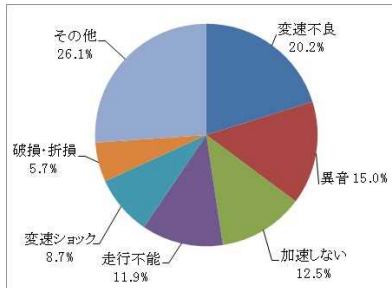
装置別	原動機	動力伝達装置	制動装置	保安・灯火装置	車枠・車体	乗車装置	かじ取り装置	燃料装置	電気装置	排ガス・騒音	緩衝装置	走行装置	電動機	その他の装置	合計
件数	797	506	245	237	184	166	145	112	103	75	65	56	42	210	2,943

1. 原動機



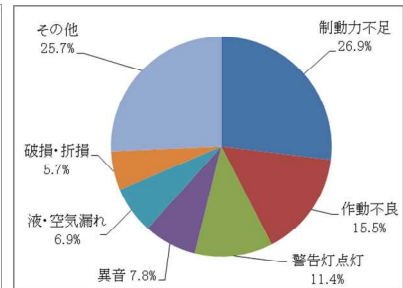
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	152
2	破損・折損	97
3	始動不良	86
4	オイル漏れ・消費大	68
4	加速・出力不良	68
6	異音	49
	その他	277
	合計	797

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	変速不良	102
2	異音	76
3	加速しない	63
4	走行不能	60
5	変速ショック	44
6	破損・折損	29
	その他	132
	合計	506

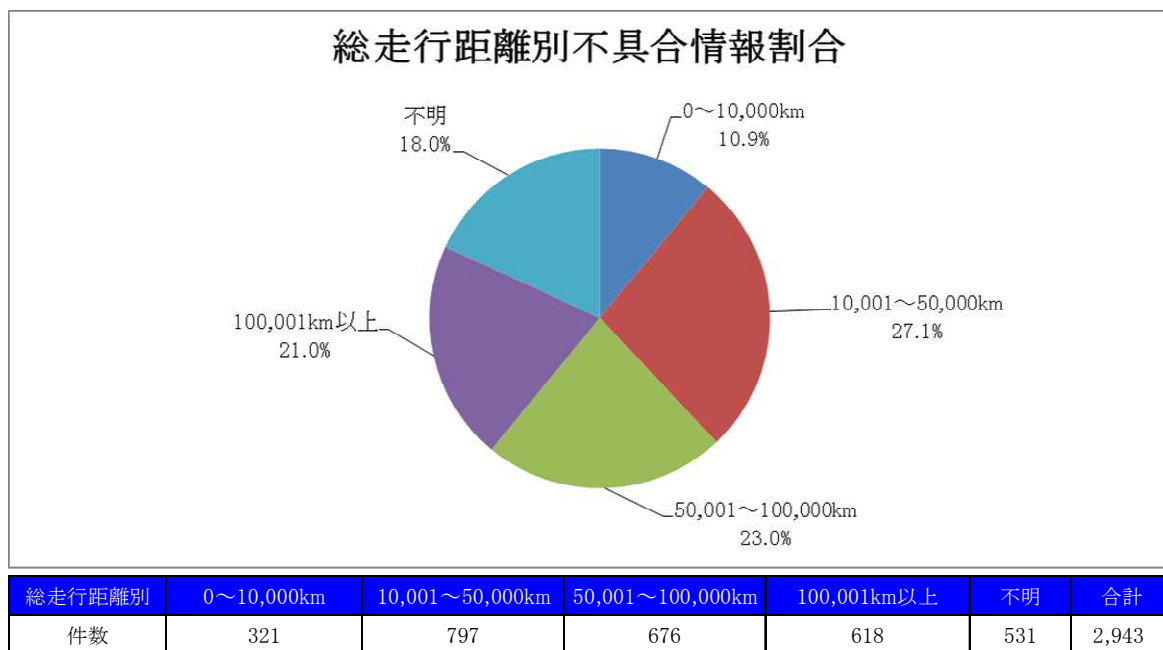
3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	66
2	作動不良	38
3	警告灯点灯	28
4	異音	19
5	液・空気漏れ	17
6	破損・折損	14
	その他	63
	合計	245

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、1万km超5万km以下が797件で全体の27.1%と最も多く、次いで5万km超10万km以下が676件(23.0%)、10万km超が618件(21.0%)、1万km以下が321件(10.9%)の順となっている。

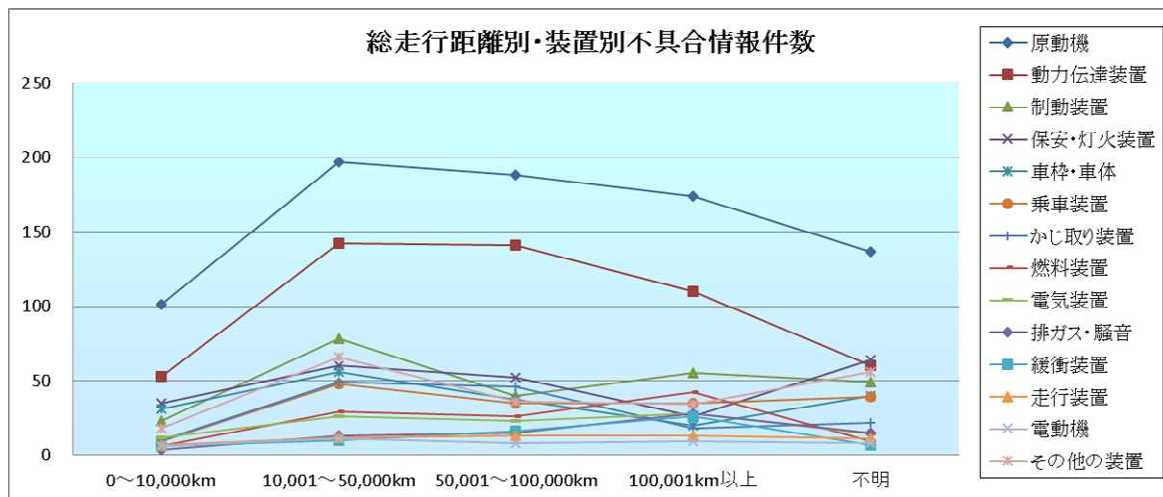
5万km以下の不具合情報件数と5万km超10万km以下の不具合情報件数とを比較すると、前者が後者の約1.6倍となっており、初期型の不具合情報が多く寄せられている。



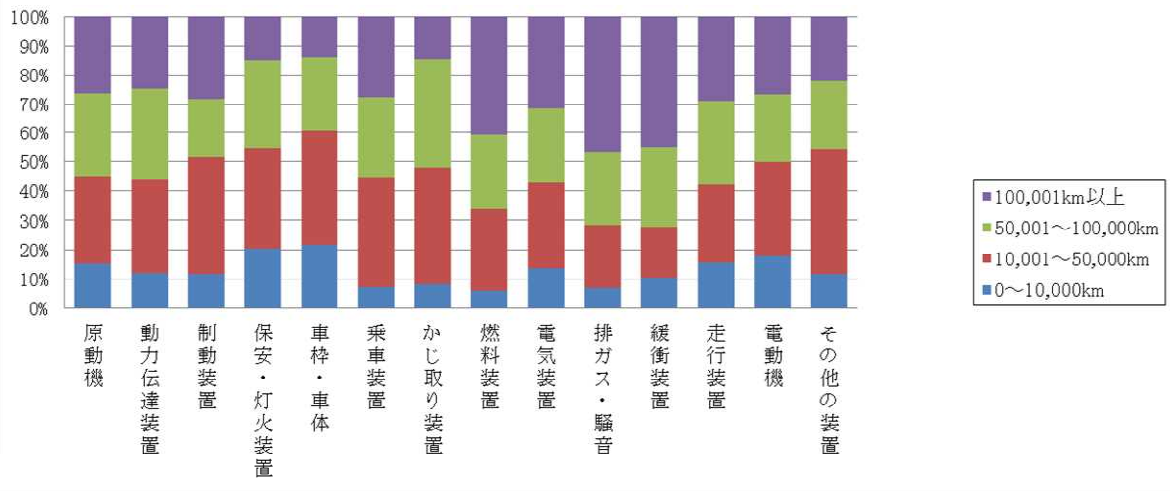
6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数は、全ての総走行距離別の区分（不明を除く。）において原動機の不具合情報件数が最も多く、次いで動力伝達装置となっている。この2つの装置については、総走行距離1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、緩衝装置及び排出ガス・騒音については、総走行距離が長い区分ほど不具合情報件数が多くなっている。それ以外の装置については、各装置では各総走行距離別の区分とも概ね一定であり顕著な傾向は見られない。

なお、不具合情報件数が最も多かったのは、総走行距離1万km超5万km以下の原動機（197件）であり、次いで5万km超10万km以下の原動機（188件）、10万km超の原動機（174件）の順となっている。



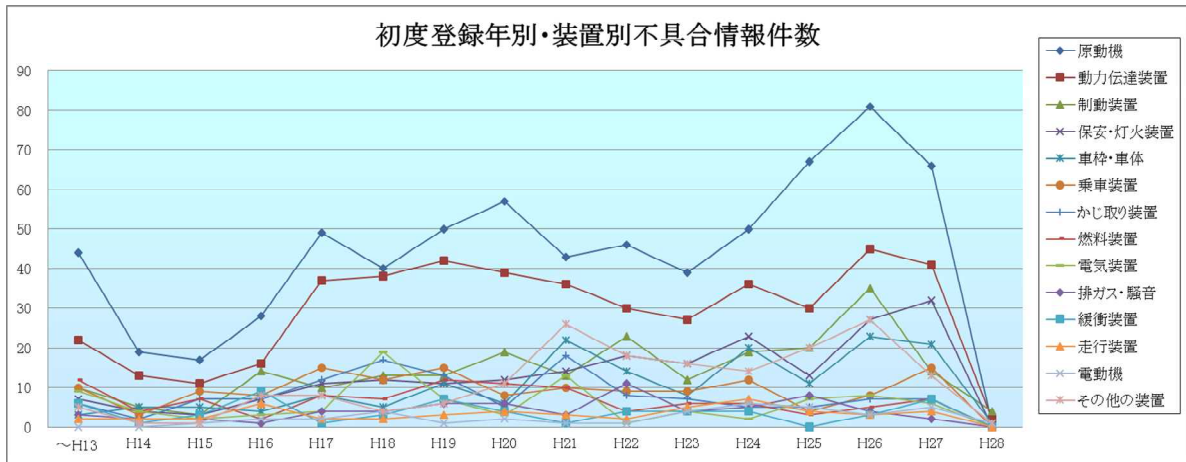
総走行距離別・装置別不具合割合



総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	101	197	188	174	137	797
動力伝達装置	53	142	141	110	60	506
制動装置	23	78	40	55	49	245
保安・灯火装置	35	60	52	26	64	237
車枠・車体	31	56	37	20	40	184
乗車装置	9	48	35	35	39	166
かじ取り装置	10	49	46	18	22	145
燃料装置	6	29	26	42	9	112
電気装置	12	26	23	28	14	103
排ガス・騒音	4	13	15	28	15	75
緩衝装置	6	10	16	26	7	65
走行装置	7	12	13	13	11	56
電動機	6	11	8	9	8	42
その他の装置	18	66	36	34	56	210
合計	321	797	676	618	531	2,943

7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数は、全ての初度登録年において原動機が最も多く、次いで動力伝達装置が多くなっている。

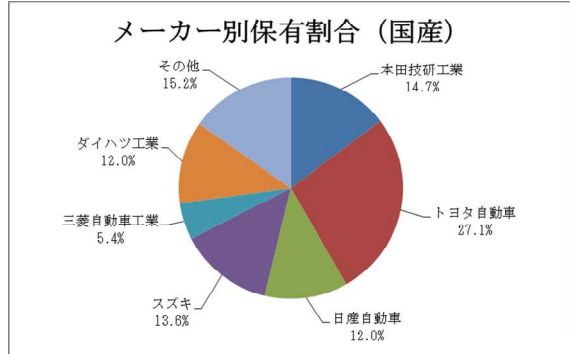
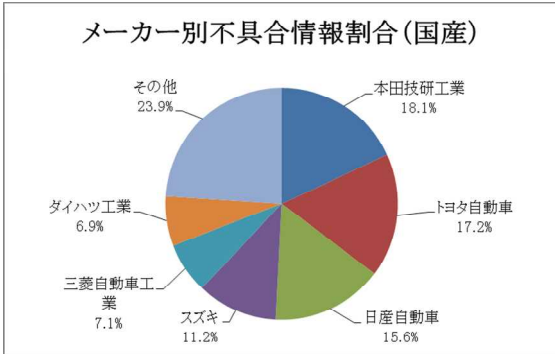
初度登録年の区分別に不具合情報件数の多い順を見てみると、原動機に関する情報で初度登録年が平成26年の81件、次いで同じく原動機に関する情報で平成25年の67件となっている。登録後概ね3年以内の原動機に関する不具合情報が著しく多くなっている。



初度登録年別 装置別	～H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	不明	総計
原動機	44	19	17	28	49	40	50	57	43	46	39	50	67	81	66	1	100	797
動力伝達装置	22	13	11	16	37	38	42	39	36	30	27	36	30	45	41	2	41	506
制動装置	10	5	3	14	10	13	13	19	13	23	12	19	20	35	14	4	18	245
保安・灯火装置	7	4	3	7	11	12	11	12	14	18	16	23	13	27	32	0	27	237
車枠・車体	3	5	5	4	8	5	11	6	22	14	8	20	11	23	21	1	17	184
乗車装置	10	3	9	8	15	12	15	8	10	9	9	12	4	8	15	0	19	166
かじ取り装置	6	2	7	7	12	17	13	5	18	8	7	5	5	7	7	0	19	145
燃料装置	12	4	7	2	8	7	12	11	10	4	6	6	3	5	7	0	8	112
電気装置	9	4	2	3	4	19	7	3	13	1	4	2	7	8	6	0	11	103
排ガス・騒音	3	2	2	1	4	4	6	6	3	11	4	5	8	4	2	0	10	75
緩衝装置	6	1	3	9	1	3	7	4	1	4	4	4	0	3	7	0	8	65
走行装置	2	2	2	6	2	2	3	4	3	2	5	7	4	3	4	0	5	56
電動機	0	0	1	2	2	4	1	2	1	1	4	6	5	3	5	1	4	42
その他の装置	5	1	1	8	8	4	6	11	26	18	16	14	20	27	13	1	31	210
合計	139	65	73	115	171	180	197	187	213	189	161	209	197	279	240	10	318	2,943

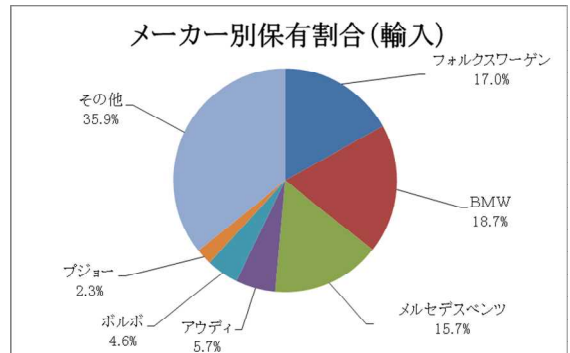
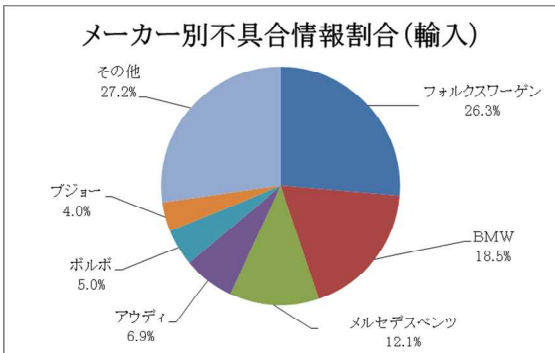
8. メーカー別の不具合情報件数（国産車）は、本田技研工業が427件で全体の18.1%と最も多く、次いでトヨタ自動車407件（17.2%）、日産自動車が368件（15.6%）の順となっている。

また、メーカー別の不具合情報件数（輸入車）では、フォルクスワーゲンが152件で全体の26.3%と最も多く、次いでBMWが107件（18.5%）、メルセデスベンツが70件（12.1%）の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	本田技研工業	427
2	トヨタ自動車	407
3	日産自動車	368
4	スズキ	265
5	三菱自動車工業	168
6	ダイハツ工業	164
	その他	566
	合計	2,365

順位	メーカー名	台数(千)
2	本田技研工業	11,236
1	トヨタ自動車	20,782
5	日産自動車	9,175
3	スズキ	10,412
6	三菱自動車工業	4,168
4	ダイハツ工業	9,214
	その他	11,620
	合計	76,606



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	152
2	BMW	107
3	メルセデスベンツ	70
4	アウディ	40
5	ボルボ	29
6	プジョー	23
	その他	157
	合計	578

順位	メーカー名	台数(千)
2	フォルクスワーゲン	689
1	BMW	761
3	メルセデスベンツ	639
4	アウディ	233
5	ボルボ	188
6	プジョー	95
	その他	1,456
	合計	4,061

(注)：保有台数は、平成27年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字(小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。)より算出した。